

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 21 年 9 月 10 日 (2009.9.10)

【公開番号】特開 2008-178114 (P2008-178114A)

【公開日】平成 20 年 7 月 31 日 (2008.7.31)

【年通号数】公開・登録公報 2008-030

【出願番号】特願 2008-20251 (P2008-20251)

【国際特許分類】

H 0 4 W 84/10 (2009.01)

H 0 4 B 1/40 (2006.01)

H 0 4 W 74/06 (2009.01)

H 0 4 W 84/18 (2009.01)

H 0 4 W 12/06 (2009.01)

【F I】

H 0 4 Q 7/00 6 2 9

H 0 4 B 1/40

H 0 4 Q 7/00 5 7 3

H 0 4 Q 7/00 6 3 3

H 0 4 Q 7/00 1 8 3

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 7 月 27 日 (2009.7.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

それぞれ UWB 無線装置を備えた第 1 の装置と第 2 の装置間で無線データ伝送を行なうデータ転送システムであって、

前記第 1 又は第 2 の装置のうち少なくとも一方の UWB 無線装置に備えられた他方の装置との距離を測定する測距手段と、

前記測距手段による測定結果に基づいて、前記第 1 及び第 2 の装置間の距離が UWB 通信により所定の伝送レート及び伝送品質を得ることができる程度の所定範囲内に入ったか否かを判別する距離判別手段と、

前記距離判別手段により前記第 1 及び第 2 の装置間の距離が前記所定範囲内に入ったと判別したことに応答して、前記第 1 及び第 2 の装置間でデータ伝送を実行するデータ転送手段と、

を具備することを特徴とするデータ転送システム。

【請求項 2】

互いの UWB 無線装置により通信可能な範囲内にある前記第 1 及び第 2 の装置間で認証処理を行なう認証手段をさらに備える、

ことを特徴とする請求項 1 に記載のデータ転送システム。

【請求項 3】

前記第 1 及び第 2 の装置間の距離を前記所定範囲内の距離に固定する固定手段をさらに備える、

ことを特徴とする請求項 1 に記載のデータ転送システム。

【請求項 4】

前記固定手段は、前記第 1 の装置を前記第 2 の装置に収納することにより前記所定範囲内の距離に固定する、

ことを特徴とする請求項 3 に記載のデータ転送システム。

【請求項 5】

それぞれ UWB 無線装置を備えた第 1 の装置と第 2 の装置間で無線データ伝送を行なうデータ転送システムであって、

前記第 1 又は第 2 の装置のうち少なくとも一方において、通信相手となる無線装置の存在を認識する認識手段と、

前記認識手段により前記第 1 及び第 2 の装置の一方が他方の存在を認識したことに応答して、前記第 1 及び第 2 の装置間でデータ伝送を開始するデータ転送手段と、

を具備することを特徴とするデータ転送システム。

【請求項 6】

前記認識手段は、前記第 1 又は第 2 の装置の少なくとも一方がポーリング機能を用いて通信相手となる機器を検出することにより通信相手となる無線装置の存在を認識する、

ことを特徴とする請求項 5 に記載のデータ転送システム。

【請求項 7】

前記無線データ伝送では RTS / CTS 方式が適用され、

前記測距手段は、データ送信元となる一方の装置から RTS パケットが送信され、データ送信先となる他方の装置から返される CTS パケットを搬送した UWB 信号に基づいて距離を測定する、

ことを特徴とする請求項 1 又は請求項 5 のいずれかに記載のデータ転送システム。

【請求項 8】

UWB 信号の送受信を行なう UWB 通信手段と、

送受信した UWB 信号に基づいて通信相手となる機器との距離を測定する測距手段と、

前記測距手段による測定結果に基づいて、前記通信相手となる機器との距離が UWB 通信により所定の伝送レート及び伝送品質を得ることができる程度の所定範囲内に入ったか否かを判別する距離判別手段と、

前記距離判別手段により前記通信相手となる機器との距離が前記所定範囲内に入ったと判別したことに応答してデータ伝送を実行するデータ転送手段と、

を具備することを特徴とする無線通信装置。